

や やるぞ～ ま まけないぞ～ が がんばろうぜ～ た 楽しい学校になるように

ITをコントロールできる生身の人間たれ！

新潟日報社が実施したタブレット端末に関するアンケートには、期待と疑問、不安などさまざまな声が寄せられた。教育関係者や最新の「構想」の在り方について聞き、保護者の疑問にも答えてもらった。

鉛筆 ノート タブレット

読者アンケートから

<上>

アンケートには、「生身の人間としての成長が妨げられるのでは」（新潟市江南区50代女性）、「人とのコミュニケーションが少なくなる」（新潟市東区40代女性）など、教育にICT（情報通信技術）を導入することで、教師や児童生徒同士の関わる機会が減ることを危惧する意見が寄せられた。

タブレットは学びのための道具と位置付けられている。山潟中（新潟市中央区）の貝塚敦校長（57）は五感を使う学びを重視していると、「タブレットの使用自体が目的となっていない。リアルな教育とデジタルのバランスが大事」と強調する。

学びへの不安

貝塚校長は、物事を多面的・多角的に見る力を付け、人の気持ちに分かるようになることが大切だと考えている。その上で「同じ空間と時間を共有し、集団での関わり、社会とのつながりを意識した体験活動は重要だ」と指摘する。

学校の授業では、黒板の板書をノートに書き留める代わりにタブレットで撮影する児童生徒もいる。「教員の話に集中できる」とのメリットがある一方で、紙に書く機会が減っている子どもがいるという。アンケートでは「小学生

紙に書く機会も重要



授業でタブレット端末を使う生徒。意見の集約や共有をはじめ、学校ではさまざまな場面で活用が進む＝新潟市江南区の亀田中

の妹は、漢字の細かいところからうまく書けないなど『書かないこと』の弊害が出ている（長岡市高校生）との声に加え、「タブレットで宿題をしているが、実際の入試で問題を解けるか不安」（新潟市中央区40代女性）と、目の前に迫る受験を気にする人もいた。学習塾を展開するNSG

が求められる」とアドバイスした。高校や大学入試では思考力や表現力を問う問題が増えつつあるという。「タブレットを利用した学習だけに偏らないように、デジタル技術をつまみ活用しながら記述力を身に付けることが求められる」とアドバイスした。

記述減り、漢字覚えられない子も

アンケートで寄せられた声

- タブレット端末での宿題だと実際入試になって問題を解けるか不安（新潟市中央区・40代女性）
- 学習アプリをゲームのようにやっている。書かずに本当に定着しているのか疑問（新潟市西区・40代女性）
- 便利ではあっても、生身の人としての成長が妨げられる感じがする（新潟市江南区・50代女性）
- 辞書で調べたり、自分の頭で考えて書いたりすることも大切だ（上越市・40代女性）

県内外の児童・生徒を対象にした新大全国書初大会 同書道教育学会の前会長 21日まで、午前9時半～ 多様な学び方ができ